



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 三機工業株式会社	上場取引所 東
コード番号 1961	URL https://www.sanki.co.jp/
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)長谷川 勉	TEL 03-6367-7084
問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理本部長 (氏名)川辺 善生	—
四半期報告書提出予定日 2020年2月7日	配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有	
四半期決算説明会開催の有無 : 無	

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	143,678	1.1	5,588	16.1	6,148	14.1	4,300	69.3
2019年3月期第3四半期	142,046	22.9	4,815	110.1	5,388	76.9	2,540	148.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,587百万円 (605.7%) 2019年3月期第3四半期 791百万円 (△83.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	72.46	72.11
2019年3月期第3四半期	41.98	41.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	174,316	89,129	51.0
2019年3月期	195,321	89,772	45.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 88,827百万円 2019年3月期 89,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2020年3月期	—	35.00	—		
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当20円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	210,000	△1.1	9,800	△7.9	10,000	△10.7	7,000	△22.6
								118.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	60,661,156株	2019年3月期	62,661,156株
2020年3月期3Q	2,467,994株	2019年3月期	3,067,694株
2020年3月期3Q	59,353,512株	2019年3月期3Q	60,514,545株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2019年11月8日発表の数値から変更はありません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、長期ビジョン“Century 2025”で「質」と「信頼」をさらに高め、ステークホルダーの皆さまからもっと「選ばれる」会社を目指しております。当年度は、3カ年の中期経営計画“Century 2025” Phase2の初年度であり、Phase1の「質」を高める取り組みを継続しつつ、新たに「信頼」を高める取り組みを進めてまいります。この実現に向け、引き続き環境変化に柔軟に対応できる企業体制を構築しつつ、新技術の開発、コーポレートガバナンスの一層の強化に取り組み、コンプライアンスの徹底を土台として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け鋭意努力を重ねてまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
当第3四半期 連結累計期間	150,933	143,678	5,588	6,148	4,300
前第3四半期 連結累計期間	155,048	142,046	4,815	5,388	2,540
増減	△4,114	1,631	772	759	1,760
増減率	△2.7%	1.1%	16.1%	14.1%	69.3%

	当期首	当期末	当期首からの 増減	増減率
繰越受注高	149,829	157,084	7,255	4.8%

受注高につきましては、前年同期と比較して41億1千4百万円減少いたしました。売上高につきましては、前年同期と比較して16億3千1百万円の増収となりました。利益面につきましては、増収及び工事採算の改善等により営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれにつきましても前年同期と比較して増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、建築設備事業、機械システム事業及び環境システム事業につきましては、通常の営業形態として、工事の完成引渡しに年度末に集中する影響で、売上高及び利益額が第4四半期に偏る季節要因があります。

① 建築設備事業

ビル空調衛生、主に工場向けの空調設備を中心とする産業空調、電気設備及びファシリティシステムに関する事業等、建築設備工事の概ね全てを包含する事業で構成されております。

受注高は1,221億1千万円（前年同期比7.8%減）、売上高は1,201億7千8百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益（経常利益）は58億3千9百万円（前年同期はセグメント利益48億7千3百万円）となりました。

受注高は、主に産業空調分野において前年同期に大型物件を受注した反動等により減少いたしました。

セグメント利益（経常利益）は、主に工事採算の改善等により増益となりました。

② 機械システム事業

主に搬送システム及び搬送機器に関する製造販売事業で構成されております。

受注高は82億4千5百万円（前年同期比13.4%減）、売上高は78億8千2百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント利益（経常利益）は9千万円（前年同期はセグメント損失4千3百万円）となりました。

売上高及びセグメント利益（経常利益）は、大型搬送用設備の工事進捗が進んだこと等により増収増益となりました。

③ 環境システム事業

主に官公庁発注の上下水道施設及び廃棄物処理施設に関する事業で構成されております。

受注高は191億9千7百万円（前年同期比51.5%増）、売上高は143億3百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント損失（経常損失）は8億6千5百万円（前年同期はセグメント損失2億2百万円）となりました。

受注高は、大型の廃棄物処理施設を受注したこと等により増加いたしました。

④ 不動産事業

売上高は16億2千8百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益（経常利益）は4億9百万円（前年同期はセグメント利益3億5千1百万円）となりました。

⑤ その他

売上高は6億6百万円（前年同期比31.5%増）、セグメント利益（経常利益）は7千8百万円（前年同期はセグメント利益2千8百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,195億4千4百万円（前連結会計年度末比15.4%減）、固定資産は547億7千2百万円（前連結会計年度末比1.5%増）となりました。その結果、総資産は1,743億1千6百万円（前連結会計年度末比10.8%減）となりました。

総資産の減少の主な要因は、流動資産において、自己株式の取得や配当金の支払い等により現金預金が減少したこと及び季節要因により受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は707億2千6百万円（前連結会計年度末比22.5%減）、固定負債は144億6千万円（前連結会計年度末比1.6%増）となりました。その結果、負債合計は851億8千7百万円（前連結会計年度末比19.3%減）となりました。

負債の減少の主な要因は、季節要因により流動負債の支払手形・工事未払金等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は891億2千9百万円（前連結会計年度末比0.7%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2019年11月8日発表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	42,612	37,659
受取手形・完成工事未収入金等	85,243	62,556
電子記録債権	6,562	6,783
有価証券	2,000	3,100
未成工事支出金	2,049	3,770
原材料及び貯蔵品	558	616
その他	2,316	5,101
貸倒引当金	△0	△43
流動資産合計	141,342	119,544
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	42,214	42,866
減価償却累計額	△32,840	△32,725
建物・構築物(純額)	9,373	10,141
機械、運搬具及び工具器具備品	1,967	1,973
減価償却累計額	△1,601	△1,509
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	365	464
土地	3,450	3,130
リース資産	712	633
減価償却累計額	△319	△347
リース資産(純額)	392	285
建設仮勘定	747	176
有形固定資産合計	14,329	14,198
無形固定資産		
その他	688	684
無形固定資産合計	688	684
投資その他の資産		
投資有価証券	27,879	29,452
長期貸付金	111	93
退職給付に係る資産	4,411	4,394
敷金及び保証金	1,479	1,447
保険積立金	336	613
繰延税金資産	1,264	533
その他	5,559	5,317
貸倒引当金	△2,082	△1,962
投資その他の資産合計	38,961	39,889
固定資産合計	53,979	54,772
資産合計	195,321	174,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	68,286	52,805
短期借入金	6,874	6,110
リース債務	392	195
未払法人税等	2,510	119
未成工事受入金	3,395	5,832
賞与引当金	4,180	1,806
役員賞与引当金	242	184
完成工事補償引当金	360	612
工事損失引当金	480	213
その他	4,594	2,845
流動負債合計	91,317	70,726
固定負債		
長期借入金	5,220	4,177
リース債務	280	314
退職給付に係る負債	3,120	3,307
役員退職慰労引当金	52	39
損害賠償引当金	190	190
繰延税金負債	40	793
その他	5,328	5,638
固定負債合計	14,232	14,460
負債合計	105,549	85,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,105	8,105
資本剰余金	4,181	4,181
利益剰余金	73,250	70,879
自己株式	△3,700	△3,330
株主資本合計	81,836	79,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,450	10,738
為替換算調整勘定	△94	△233
退職給付に係る調整累計額	△1,652	△1,513
その他の包括利益累計額合計	7,704	8,991
新株予約権	231	302
純資産合計	89,772	89,129
負債純資産合計	195,321	174,316

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高		
完成工事高	140,521	141,912
不動産事業等売上高	1,524	1,766
売上高合計	142,046	143,678
売上原価		
完成工事原価	121,607	121,914
不動産事業等売上原価	1,014	1,135
売上原価合計	122,621	123,049
売上総利益		
完成工事総利益	18,914	19,998
不動産事業等総利益	510	630
売上総利益合計	19,425	20,628
販売費及び一般管理費	14,609	15,040
営業利益	4,815	5,588
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	557	554
その他	295	284
営業外収益合計	868	854
営業外費用		
支払利息	106	92
その他	188	201
営業外費用合計	294	294
経常利益	5,388	6,148
特別利益		
固定資産売却益	—	258
投資有価証券売却益	246	84
特別利益合計	246	342
特別損失		
減損損失	524	26
固定資産売却損	52	—
固定資産除却損	149	37
環境対策費用	63	69
事務所移転費用	10	51
関係会社出資金評価損	197	—
関係会社事業損失引当金繰入額	377	—
損害賠償引当金繰入額	190	—
特別損失合計	1,563	183
税金等調整前四半期純利益	4,070	6,306
法人税、住民税及び事業税	1,470	1,159
法人税等調整額	60	846
法人税等合計	1,530	2,006
四半期純利益	2,540	4,300
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,540	4,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,197	1,288
為替換算調整勘定	△31	△139
退職給付に係る調整額	479	138
その他の包括利益合計	△1,748	1,286
四半期包括利益	791	5,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	791	5,587
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,070	6,306
減価償却費	930	1,222
減損損失	524	26
固定資産除却損	149	37
事務所移転費用	10	51
環境対策費用	63	69
関係会社出資金評価損	197	—
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	377	—
損害賠償引当金の増減額(△は減少)	190	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△990	△2,373
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	888	365
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△13
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△195	△266
受取利息及び受取配当金	△572	△569
支払利息	106	92
有形固定資産売却損益(△は益)	52	△258
投資有価証券売却損益(△は益)	△246	△84
売上債権の増減額(△は増加)	△4,010	22,765
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,694	△1,614
仕入債務の増減額(△は減少)	9,226	△15,694
未成工事受入金の増減額(△は減少)	580	2,367
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,688	△1,875
その他	△2,817	△1,783
小計	5,124	8,767
利息及び配当金の受取額	573	570
利息の支払額	△108	△95
法人税等の支払額	△5,417	△4,438
事務所移転費用の支払額	△55	△37
環境対策費用の支払額	△190	△184
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74	4,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△15,000	△12,000
有価証券の償還による収入	16,200	12,000
有形固定資産の取得による支出	△5,321	△1,634
有形固定資産の売却による収入	10	759
有形固定資産の除却による支出	△587	△37
投資有価証券の取得による支出	△23	△21
投資有価証券の売却による収入	587	151
貸付けによる支出	△3	—
貸付金の回収による収入	12	17
保険積立金の払戻による収入	296	30
その他	49	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,778	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△791	△764
長期借入金の返済による支出	△1,042	△1,042
自己株式の取得による支出	△924	△2,042
ストックオプションの行使による収入	0	—
リース債務の返済による支出	△137	△158
配当金の支払額	△2,423	△4,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,319	△8,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,188	△4,651
現金及び現金同等物の期首残高	44,866	42,612
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	698
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,678	38,659

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

非連結子会社でありました三機建筑工程(上海)有限公司につきましては、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	121,632	7,089	12,778	1,409	142,910	461	143,371	△1,325	142,046
セグメント利益 又は損失(△)	4,873	△43	△202	351	4,979	28	5,007	380	5,388

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額380百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益△62百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額181百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損、事務所移転費用及び関係会社出資金評価損を特別損益に計上したことによる調整額262百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息及び配当金、全社費用の配賦差額などであり、

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	120,178	7,882	14,303	1,628	143,992	606	144,598	△920	143,678
セグメント利益 又は損失(△)	5,839	90	△865	409	5,473	78	5,551	596	6,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額596百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益284百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額224百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損、事務所移転費用等を特別損益に計上したことによる調整額87百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、全社費用の配賦差額などであり、

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得及び消却を行いました。これによる当第3四半期連結累計期間の取得による自己株式の増加額は2,042百万円、消却による自己株式及び利益剰余金の減少額は2,412百万円となり、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は3,330百万円となっております。